

2005年(平成17年)3月6日 日曜日

道標

「毒液」一作はなほ健だが、日本映画
収入は「連続爆弾」、昨年一年間の映画費行
千円位で止つた。その原因は、シネマ
ネットの普及、「天賜の國」など、二
年、三年の「邦画」が伸び、「ハカル
の魔女」は原題にして「世界の女
心地悪がるや」と
の競争戦略が中核だった
が、今では、私の
大歓喜は、
争勝體質。私が大阪で監修部に入學し
松山は離れて、かく七年の監修作は
「日本にこぼれぬ」、つまり、日本を
誇張して、日本の技術で、日本の大作
を描いた。だが、いま松山で
いき回遊するのアーヴィング、歌舞伎
の舞台は、戦事興奮の背景を絶え

「ローレライ」と戦後60年
世界の中は「ハカル」の導入が、日本映画の監修を行なう新規制による。この規制は、シネマの本質を再認識するためのものだ。



弁護士

平和語り合う素材に

ふるさと伝言

「方を美濃・朝日間でこじんと語合つてゐる」と、のちだ。戦後六十の今年、『ローラン』へおひりとて、この文章、『ローラン』は「あの戦争を記録したい」と、自歎が該文作成の中心となる。日本との平和の底辺生産を考へるうえで不可欠だ。

2005年(平成17年)1月30日 日曜日

道標

私は福山市出身の弁護士だが、110一年のホームページ開設(<http://>)

告人を殺すべしとなるやう。
九八年に「日本をやめよう」。
「日本」はやがて名作『日本』題。いわ
が『日本』の原題参加を求めて『西西』
が『西西』へこられたときに上野原
雅春の『西西の原題がなげのま夜』
はあなた!』。第四回三人の素人裁判
は「西西」。西西で「西西の原題官能」に対する
はね返り。西西の原題官能は「西西」。
はね返りで「西西」に「西西」出来たが、
西西の原題官能が「西西」だつたが、
西西の原題官能がなげのま夜

卷之三

卷之三

暗審映画あれこれ

市民の司法参加描く

通標

駅前再開発の行方



弁護士

坂和
章平

現在進行形の「破綻」

西日本に比べ、道後温泉、松山城、井手橋など、観光資源が豊富な伊予市は、駅前再開発の実現が大きな課題となっていた。しかし、計画段階から複数の問題が浮上し、実現の見込みが薄れ、今や「破綻」といわれる状況となってしまった。

2005年(平成17年)4月10日 日曜日

通標

法曹界が面白い



坂和
章平

「100回目の法科大学院(口一
スター)」の記念豪傑は、「私はい
ま法曹界が面白い」と(当事法
研究会)佐田洋二氏によると、
司法改革の中、面白味のある法
曹界の本音といふ語を説いていた
らしい。(書井マニ)

道標

8・15と9・11

坂和 章平



井謙士

「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

矢野は「道標」の説明で、「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

市民の学習が不可欠

眺望保全と景観形成

道標



井謙士

田舎町であつても、市街地であつても、同じく「道標」は、さまざまな形で現れており、そこには多くの人々の想いが詠んでいます。例えば、市役所や駅舎、公園などの案内看板や、商店街の看板など、その多くが「道標」になります。

しかし、この「道標」には、もう一つ重要な意味があります。それは、人々が自分たちの町や街に対する想いを、他の人に伝えたり、自分の想いを大切にしたりするための「道標」です。

この「道標」は、必ずしも豪華な建物や立派な公園ではありませんが、それでも、その存在感と、人々の想いが詠わっていることによって、とても重要な意味があります。

「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

矢野は「道標」の説明で、「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

矢野は「道標」の説明で、「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

日本の針路決定の日

伝言

今年の8・15が「日本の針路決定の日」

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

矢野は「道標」の説明で、「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

矢野は「道標」の説明で、「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

「日本がこれからどういきたいのか」という大きな課題を前にして、矢野と並んで意見交換会を開いた。新たに問題提起され、議論が深められ、新たな道筋が見えてきた。それがこの「道標」である。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

筆者によると、矢野は「道標」について、「これまでの経験を通じて、常に前へ向かうべき道筋を示す」と定義している。

この「道標」は、必ずしも豪華な建物や立派な公園ではありませんが、それでも、その存在感と、人々の想いが詠わっていることによって、とても重要な意味があります。

この「道標」は、必ずしも豪華な建物や立派な公園ではありませんが、それでも、その存在感と、人々の想いが詠わっていることによって、とても重要な意味があります。

この「道標」は、必ずしも豪華な建物や立派な公園ではありませんが、それでも、その存在感と、人々の想いが詠わっていることによって、とても重要な意味があります。

この「道標」は、必ずしも豪華な建物や立派な公園ではありませんが、それでも、その存在感と、人々の想いが詠わっていることによって、とても重要な意味があります。

